



# 平成30年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 美郷町地域公共交通会議 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要

## 美郷町の概要

- ・平成16年10月に1町1村が合併
- ・人口 4,900人(平成27年度国勢調査)
- ・面積 282.92km<sup>2</sup>

## 地域公共交通会議の構成員

島根県 美郷町 石見交通(株) 大和観光(株) 駅々タクシー(有)  
備北交通(株) おおちハイヤー 島根県旅客自動車協会  
島根県交通運輸産業労働組合協議会 美郷町連合婦人会  
美郷町連合自治協議会 美郷町老人クラブ連合会  
川本警察署 NPO法人別府安心ネット 島根運輸支局  
(株)バイタルリード

## 概要

美郷町は平成16年に邑智町と大和村が合併し、行政範囲が広域となった。合併後は民間バス路線の撤退により市町村有償運送によるバス路線維持、高齢者の移動手段の確保のためのデマンド型乗合タクシーの導入を行ってきたが、平成30年4月から、三江線代替交通の運行を開始している。現在の公共交通の状況は、町外への移動として民間路線バス4路線、飯南町営バス1路線が運行している。町内移動として町営バス1路線、デマンド型乗合タクシー3路線が運行している。移動のニーズである、通学、通院、買物、通勤に配慮し、持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を目指した事業に取り組んでいる。

## 交通会議の主な取り組み

- ・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編
- ・交通空白地域におけるデマンドタクシーの導入
- ・公共交通結節点における待合所などの環境整備
- ・モビリティマネジメントとしてバスの乗り方教室開催
- ・低床バス利用導入によるバリアフリー化
- ・バスブックの作成、全戸配布
- ・バス路線利用促進のための運賃助成

## 交通会議における検討

- 協議会の開催状況 3回開催
- ・第1回(6月29日)平成31～33年度フィーダー系統確保維持改善計画  
書面 審議 合意
  - ・第2回(7月30日)平成30～32年度フィーダー系統確保維持改善計画  
の変更を書面審議 合意
  - ・第3回(1月8日)平成30～32年度フィーダー系統確保維持改善計画  
の事業評価を協議 合意

## 定量的な目標・効果

- 川本美郷線(系統2 上野～石見川本) : (目標)輸送量を1日5人以上とする。  
(効果)小中学生の通学や、買物、通院などの日常生活に必要な不可欠な移動手段を確保できる。
- 川本美郷線(系統3 上野～GUおおち) : (目標)輸送量を1日10人以上とする。  
(効果)小中学生、高校生の通学や、買物、通院などの日常生活に必要な不可欠な移動手段を確保できる。
- 川本美郷線(系統6 石見川本～浜原駅前) : (目標)輸送量を1日7人以上とする。  
(効果)高校生の通学や、買物、通院などの日常生活に必要な不可欠な移動手段を確保できる。
- 明塚線(系統8 区域運行) : (目標)1便あたりの乗車人数を2人とする。  
(効果)三江線の代替交通としての役割を担い、自宅から目的地までドアツードア運行により利便性が向上。
- 作木線(系統9 GR大和～三次中央病院) : (目標)1便あたりの利用者数を3.0人以上とする。  
(効果)三次市中心部への移動支援、通勤・通学・通院、買い物等の利用促進

## 昨年度の自己評価に対するフォローアップ

- ・新規のため記載無し

## 実施した利用促進策

- ・バス路線(町内区間)を、200円で乗車できるよう運賃助成。
- ・町独自にバスブックを作成し、全戸配布した。
- ・運行事業者の協力により、バスの乗り方教室を実施した。
- ・沿線市町及び運行事業者の協力のより、三江線沿線バスマップを作成した。
- ・バスを利用した観光モデルコースを作成した。
- ・デマンド型乗合タクシーのチラシを対象地域に配布した。

## 昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

- ・新規のため記載無し

## 地域住民の意見の反映

- ・平成29年5、8、11月に住民説明会を行い、三江線代替交通の運行について、要望等ヒアリングを行った。主な意見として、適切な運賃設定、積極的な利用促進の取組、通学通院に配慮したダイヤ設定、高齢者に配慮したバリアフリー車両の導入 等があり、これらを反映した三江線代替交通バス等を整備した。

## 事業実施の適切性

すべての路線(区域)において、運行事業者並びに関係団体協力のもと、計画どおり事業は適切に実施された。

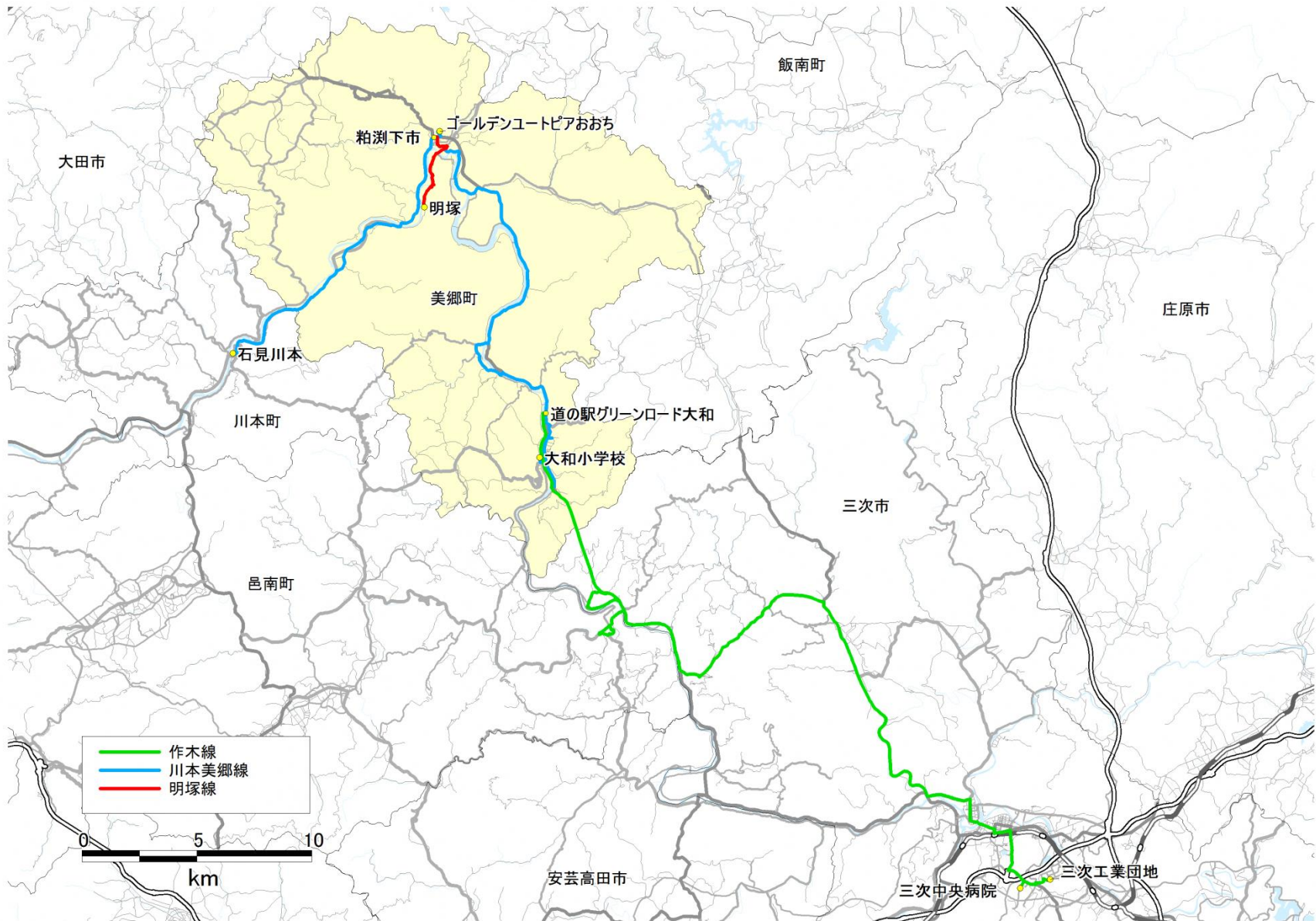
## 目標・効果達成状況

- 川本美郷線(系統2 上野～石見川本)  
(目標)1日あたりの輸送量は1.7人で、目標5人以上を下回った。  
(効果)小中学生の通学や、買物、通院などの日常生活に必要な不可欠な移動手段を確保できた。
- 川本美郷線(系統3 上野～GUおおち)  
(目標)1日あたりの輸送量は8.2人で、目標10人以上を下回った。  
(効果)小中学生、高校生の通学や、買物、通院などの日常生活に必要な不可欠な移動手段を確保できた。
- 川本美郷線(系統6 上野～GUおおち)  
(目標)1日あたりの輸送量は9.0人で、目標7人以上を上回った。  
(効果)高校生の通学や、買物、通院などの日常生活に必要な不可欠な移動手段を確保できた。
- 明塚線(系統8 区域運行)  
(目標)1便あたりの乗車人数は1人で、目標2人を下回った。運行回数は計画の6割であったが、個別利用が多かったことが原因である。  
(効果)三江線の代替交通としての役割を担い、自宅から目的地までドアツードア運行により利便性が向上した。
- 作木線(系統9 GR大和～三次中央病院)  
(目標)1便当たりの利用者数は4.7人で目標を達成した。  
(効果)三次市中心部への移動支援、通勤・通学・通院、買い物等の利用促進を図ることができた。

## 事業の今後の改善点

- 川本美郷線(系統2 上野～石見川本):今後の通学利用を見込み、中学生を対象としたモビリティマネジメントを実施する。また休日の利用促進を観光利用の拡大をメインに検討していく。
- 川本美郷線(系統3 上野～GUおおち):更なる利用促進に向けて、老人会、自治会を対象としたバスの乗り方教室を開催する。また、現行のダイヤについて検討を行う。
- 川本美郷線(系統6 石見川本～浜原駅前):利用状況を観察するとともに、沿線自治体や運行事業者と連携しながら、必要に応じてダイヤ調整等により利便性向上を図る。
- 明塚線(系統8 区域運行):現在の利用者、未利用者に対して更なる利用促進の啓発と、乗り合わせを積極的に進めていきたい。
- 作木線(系統9 GR大和～三次中央病院):沿線自治体や運行事業者と連携しながら、必要に応じてダイヤ調整等により利便性向上を図る。

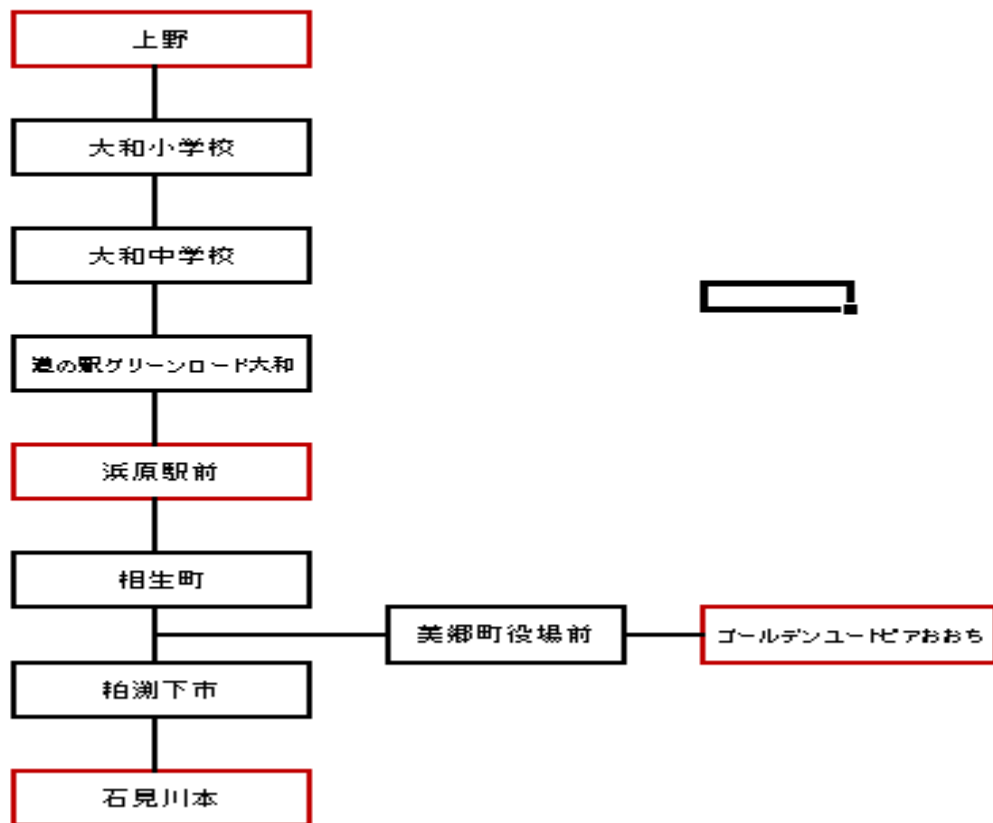
# 交通体系図 別紙



## 運行系統図 別紙

系統名 系統2 川本美郷線(上野～石見川本)  
運行形態 4条路線・乗合バス型(定期)  
運行日・便数 毎日運行(平日1往復 土日祝日3往復)  
運賃 対キロ区間制(160円～1320円)

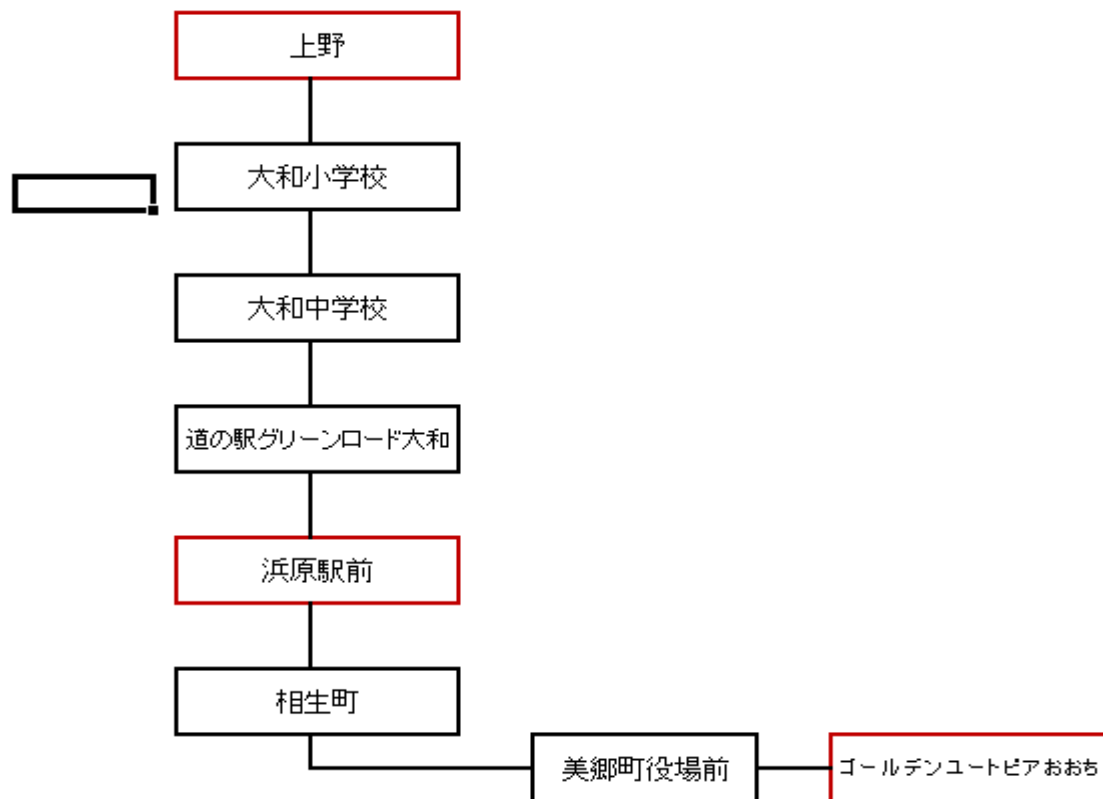
大和観光川本美郷線 運行系統図 ②



## 運行系統図 別紙

系統名	系統3 川本美郷線(上野~ゴールデンユートピアおおち)
運行形態	4条路線・乗合バス型(定期)
運行日・便数	毎日運行(平日7.5往復)
運賃	対キロ区間制(160円~1320円)

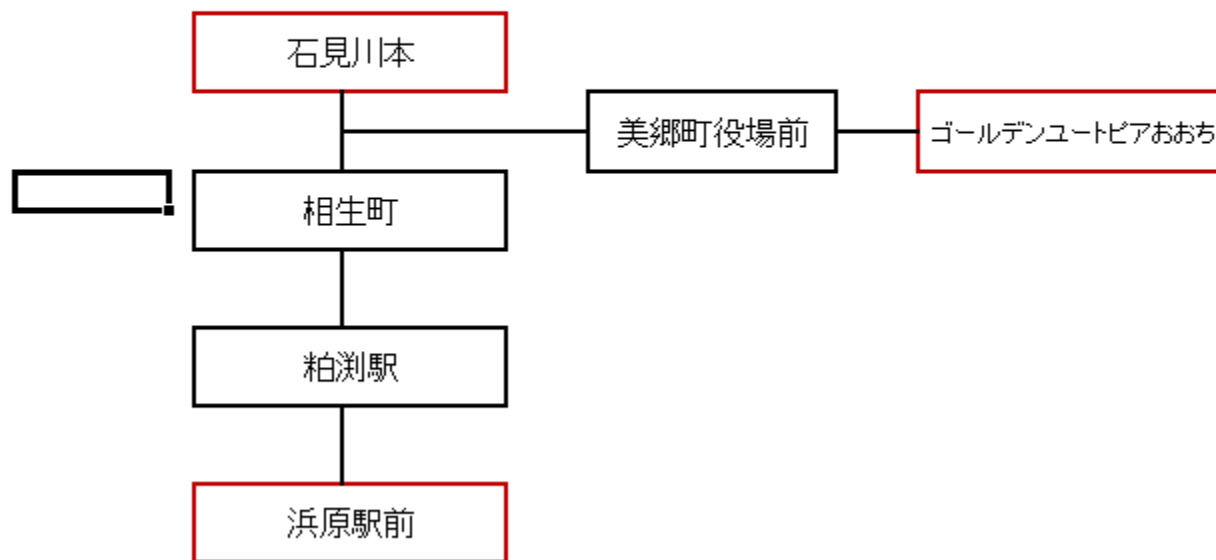
大和観光川本美郷線 運行系統図 ③



## 運行系統図 別紙

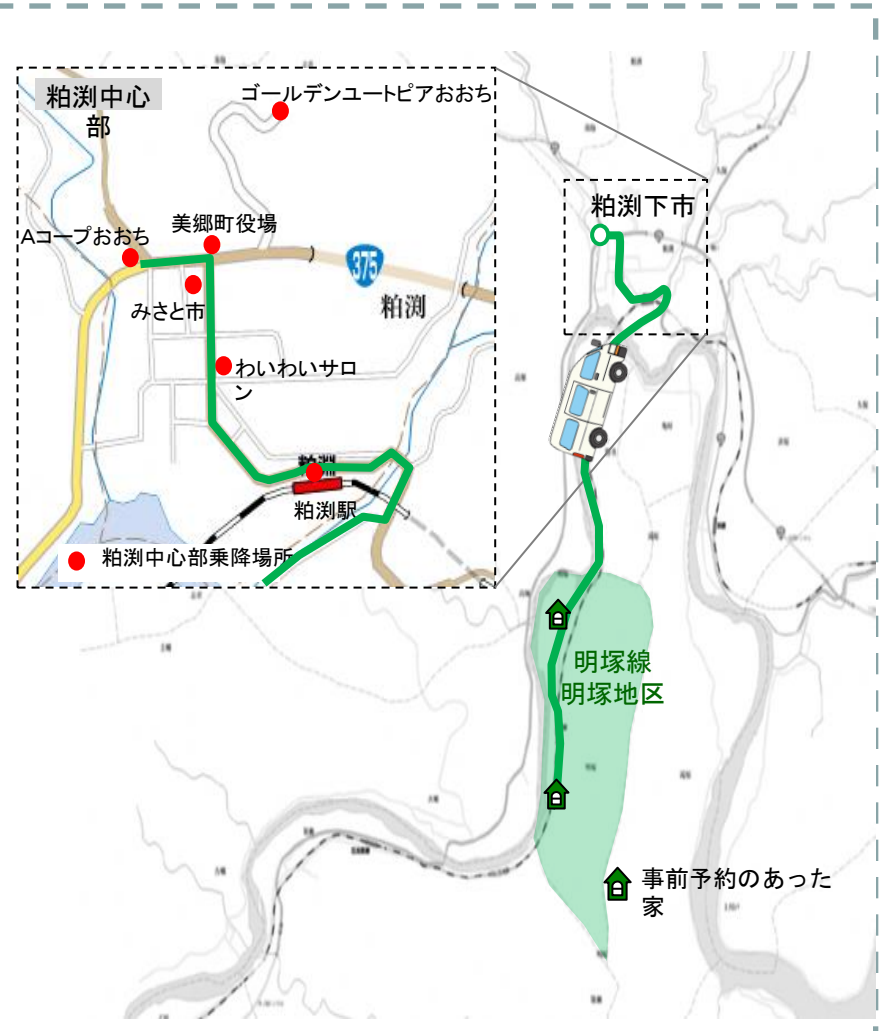
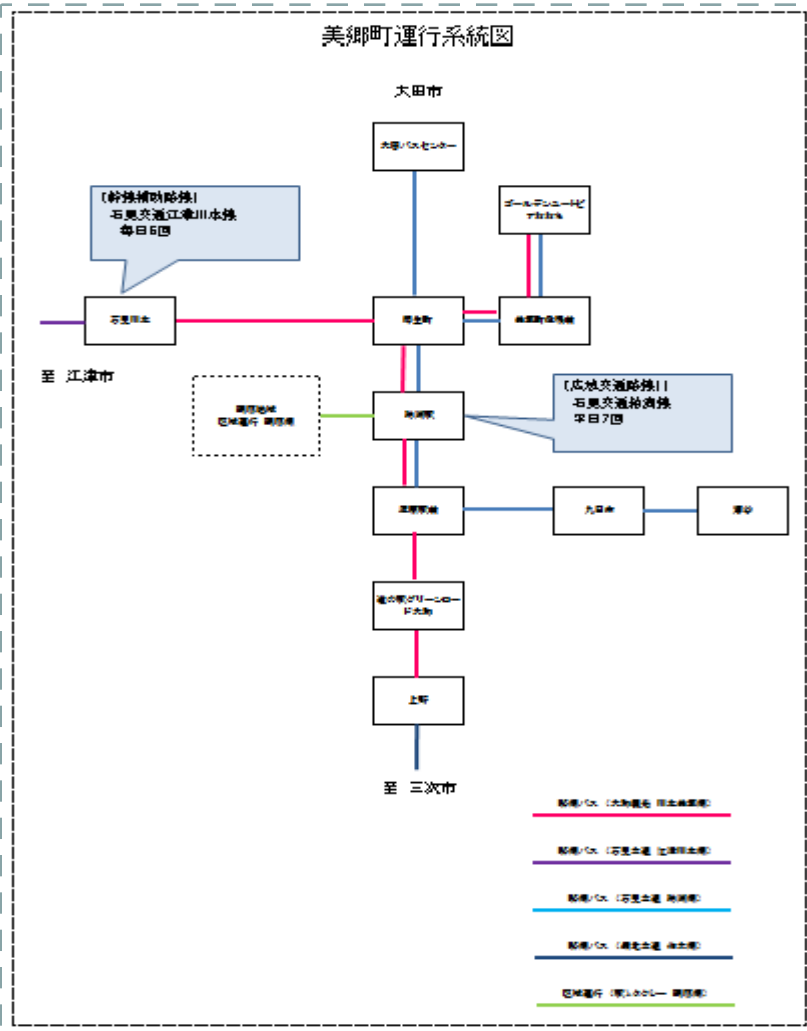
系統名	系統6 川本美郷線(石見川本～浜原駅前)
運行形態	4条路線・乗合バス型(定期)
運行日・便数	毎日運行(平日5往復)
運賃	対キロ区間制(160円～1320円)

大和観光川本美郷線 運行系統図 ⑥



# 運行系統図 別紙

系統名	系統8 明塚線(明塚地域～粕淵地域)
運行形態	区域デマンド型
運行日・便数	毎日運行(平日2往復 予約時のみ運行)
運賃	1乗車400円





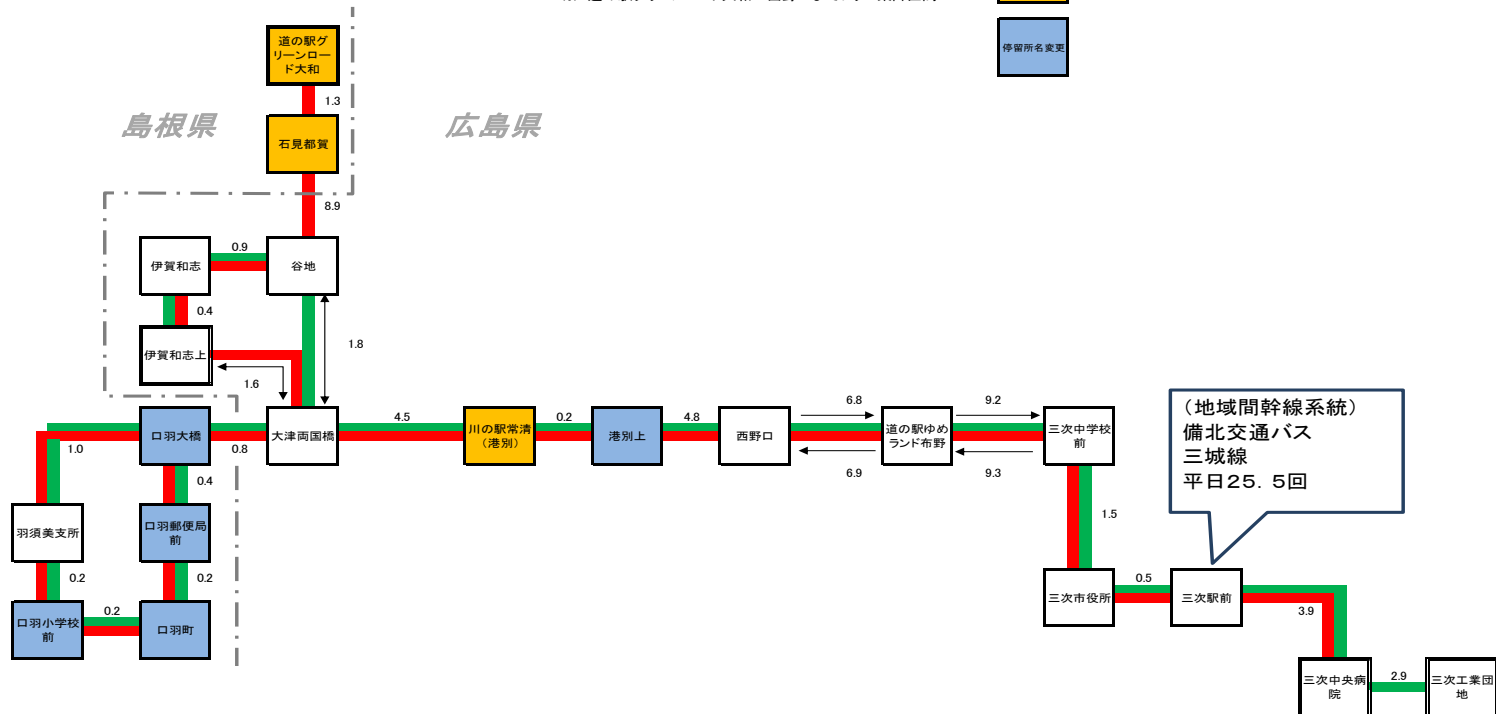
# 運行系統図 別紙

**系統名** 作木線  
**運行形態** 4条路線・乗合バス型（定期）  
**運行日・便数** 2系統（道の駅GR大和起点・伊賀和志上起点）あり。道の駅グリーンロード大和起点2便、伊賀和志上起点3便（月～金は1便）※1/1, 1/2を除く  
**運賃** 対キロ区間制（150円～1280円）

## 運行系統図（作木線） 平成30年4月1日現在

系統番号	起点	経由地	終点	系統キロ	運行回数		
					平日	土曜	日祝
900-32	伊賀和志上	谷地・羽須美支所・布野・三次駅前	三次工業団地	平日 41.0 土曜 41.2	3.0	1.0	1.0
900-42	道の駅グリーンロード大和	伊賀和志・羽須美支所・布野・三次駅前	三次中央病院	平日 48.1 土曜 48.3	2.0	2.0	2.0

※ 道の駅グリーンロード大和～西野口までフリー乗降区間



- 起終点
- 既設停留所
- 新設停留所
- 停留所名変更